



平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月12日
東

上場会社名 日本コロムビア株式会社 上場取引所
コード番号 6791 URL <http://columbia.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 眞市
問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 鈴木 千佳代 (TEL) 03-6895-9870
定時株主総会開催予定日 平成29年6月23日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 平成29年6月26日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期の連結業績(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|--------|--------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期 | 14,020 | 5.1 | 1,886 | 57.2 | 1,853 | 52.7 | 1,655 | 70.1 |
| 28年3月期 | 13,343 | 5.6 | 1,200 | — | 1,213 | — | 973 | — |

(注) 包括利益 29年3月期 1,586百万円(64.6%) 28年3月期 963百万円(—%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 自己資本当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|--------|------------|-------------------|------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 29年3月期 | 122.77 | — | 53.2 | 20.9 | 13.5 |
| 28年3月期 | 72.17 | — | 52.9 | 15.4 | 9.0 |

(参考) 持分法投資損益 29年3月期 0百万円 28年3月期 0百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 29年3月期 | 9,763 | 3,923 | 40.0 | 289.76 |
| 28年3月期 | 7,988 | 2,365 | 29.1 | 172.18 |

(参考) 自己資本 29年3月期 3,908百万円 28年3月期 2,322百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|--------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 29年3月期 | 2,165 | △482 | △297 | 5,927 |
| 28年3月期 | 1,462 | △248 | △263 | 4,542 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額(合計) | 配当性向(連結) | 純資産配当率(連結) |
|------------|--------|--------|--------|------|------|-----------|----------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 29年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 5,700 | △18.5 | 290 | △74.3 | 305 | △72.9 | 265 | △73.5 | 19.65 |
| 通期 | 11,900 | △15.1 | 720 | △61.8 | 760 | △59.0 | 650 | △60.7 | 48.19 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

| | | | |
|--------|-------------|--------|-------------|
| 29年3月期 | 13,512,870株 | 28年3月期 | 13,512,870株 |
| 29年3月期 | 25,550株 | 28年3月期 | 24,573株 |
| 29年3月期 | 13,487,871株 | 28年3月期 | 13,489,229株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 平成29年3月期の個別業績（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|----------------|------|-----------------------|-------|-------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期 | 13,159 | 8.2 | 1,131 | 124.7 | 1,613 | 74.5 | 1,617 | 69.0 |
| 28年3月期 | 12,160 | 10.3 | 503 | — | 925 | — | 956 | — |
| | 1株当たり 当期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 29年3月期 | 119.91 | | — | | | | | |
| 28年3月期 | 70.93 | | — | | | | | |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|--------|-------|--|-------|--|--------|--------|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 銭 | | |
| 29年3月期 | 8,671 | | 3,139 | | 36.0 | 231.60 | | |
| 28年3月期 | 6,851 | | 1,548 | | 22.0 | 111.65 | | |

(参考) 自己資本 29年3月期 3,123百万円 28年3月期 1,506百万円

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。
- ・当社は機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。説明会についての詳細は、上述の問合せ先責任者までご照会ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 4 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 4 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (追加情報) | 12 |
| (セグメント情報等) | 13 |
| (1株当たり情報) | 15 |
| (重要な後発事象) | 15 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

日本の音楽市場につきまして、配信に関しましては平成28年1月から12月(最新情報)における有料音楽配信の売上実績は前年同期比112%となりましたが、当社にとって依然として主要な市場であるパッケージ商品に関しましては、平成28年1月から12月における音楽ビデオを含む音楽ソフトの生産実績は前年同期比97%(以上、一般社団法人日本レコード協会調べ)となっており、パッケージ市場につきましては未だに縮小傾向が続いております。

このような状況の中、当連結会計年度の売上高は140億2千万円(前年度に比べ5.1%増)となりました。これは主に、市販/配信事業において、アニメ関連作品、ゲームソフトおよびアーティストマネジメント関連事業の売上が好調に推移したことなどによるものであります。

損益につきましても、前述の売上の増加に加え、市販/配信事業における利益率の高い過年度発売作品の売上が堅調に推移したことなどにより、営業利益は18億8千6百万円(前年度は営業利益12億円)、経常利益は18億5千3百万円(前年度は経常利益12億1千3百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は16億5千5百万円(前年度は親会社株主に帰属する当期純利益9億7千3百万円)となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

[市販/配信事業]

アニメ関連作品、ゲームソフトおよびアーティストマネジメント関連事業の売上が好調に推移したことなどにより、売上高は113億7千9百万円(前年度に比べ13.6%増)となりました。損益につきましても、前述の売上の増加に加え、利益率の高い過年度発売作品の売上が堅調に推移したことなどにより、営業利益は24億9千1百万円(前年度は営業利益15億8千2百万円)となりました。

主な作品といたしましては、「氷川きよし」のヒットシングル“みれん心”をはじめ、「松山千春」自身が選曲を行った60曲収録のベストアルバム“松山千春の系譜”、15年ぶりに再集結の「THE YELLOW MONKEY」が15年9ヶ月ぶりに発売した通算25枚目のシングル“砂の塔”、2月に日本武道館単独公演を大成功させた「04 Limited Sazabys」のセカンドメジャーアルバム“eureka”、“THE IDOLM@STER”シリーズ、“動物戦隊ジュウオウジャー”シリーズ、ほんわかキャラクター「すみっコぐらし」がみんなで村へやってきて、村づくりを始めるニンテンドー3DSソフト“すみっコぐらしむらをつくるんです”などの自社制作作品が、売上に貢献いたしました。

[特販/通販事業]

前期好調であった利益率の高い音源使用にかかる売上の減少などにより、売上高は17億9千1百万円(前年度に比べ14.2%減)となりました。営業利益は8億8千5百万円(前年度は営業利益11億3千5百万円)となりました。

[その他]

昨年、米国における連結子会社に対する出資の全持分を譲渡したこと、および他社作品の販売受託事業における売上が減少したことなどにより、売上高は8億4千9百万円(前年度に比べ31.2%減)となり、営業利益は3億1百万円(前年度は営業利益3億7千万円)となりました。

当社グループは、依然として市場が低迷しているパッケージ商品に依存している状況からの脱却を図るため、新規事業強化への構造改革が急務であるという認識に基づき、成長分野への経営資源の集中投下を行っており、アーティストマネジメント関連事業など一部に事業規模拡大の兆しも出てまいりましたが、未だ事業の開発段階であります。

このように、様々なジャンルのアーティスト発掘・育成を行い、各アーティストの特性を活かした様々な音楽関連商品やサービスの開発・提供を強化していくため、マネジメント事業部において、いわゆる360°ビジネスによる収益確立に向けた取り組みを加速いたしております。

なお、今後も、フェイス・グループの一員として戦略的パートナーシップを構築していくことにより、グループ全体で注力するアーティストの育成や様々な音楽関連サービスを充実させるとともに、グループ一丸となって音楽業界にイノベーションを起こすべく事業にまい進してまいります。

売上高の貢献主要作品

[市販/配信事業]

<音楽ソフト>

| | |
|--|----------------------------|
| “新・演歌名曲コレクション4 ーきよしの日本全国 歌の渡り鳥ー”、 | “新・演歌名曲コレクション3 ー |
| みれん心ー”、“みれん心”、“男の絶唱” | 「氷川きよし」 |
| “おとこの酒よ”、“一途な女” | 「大川栄策」 |
| “哀愁酒場” | 「田川寿美」 |
| “動物戦隊ジュウオウジャー” シリーズ | |
| “宇宙戦隊キュウレンジャー” シリーズ | |
| “THE IDOLM@STER” シリーズ | |
| “ストライクウィッチーズ” シリーズ | |
| “SUMILE SMILE” | 「内田彩」 |
| “Sweet Sensation/Baby, My First Kiss”、“RiEMUSiC” | 「村川梨衣」 |
| “30周年記念盤 ゼルダの伝説 ゲーム音楽集” | |
| “いないいないばあっ!” シリーズ | |
| “2016 アニメ&キッズ・ヒット・マーチ ～動物戦隊ジュウオウジャー/サザエさん～” | |
| “2016 ポップ・ヒット・マーチ ～スター・ウォーズ/もしも運命の人がいるのなら～” | |
| “松山千春の系譜” | 「松山千春」 |
| “イエモン ーFAN’S BEST SELECTIONー”、“砂の塔” | 「THE YELLOW MONKEY」 |
| “SAMSARA FLIGHT ～輪廻飛翔～” | 「LOUDNESS」 |
| “僕はコレクター” | 「THE COLLECTORS」 |
| “Waltz on Life Line” | 「9mm Parabellum Bullet」 |
| “AIM”、“eureka” | 「04 Limited Sazabys」 |
| “待とうよ!” | 「HR」 |
| “サンダーバード音楽集 ～オリジナル・スコアによる” | 「広上淳一 指揮 東京ガーデン・オーケストラ」 |
| “ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番” | 「反田恭平」 |

<映像ソフト>

| | |
|--|---------------------|
| “-THE YELLOW MONKEY SUPER JAPAN TOUR 2016 SAITAMA SUPER ARENA 2016.7.10- ” | 「THE YELLOW MONKEY」 |
| “THE IDOLM@STER CINDERELLA GIRLS 3rdLIVE シンデレラの舞踏会 - Power of Smile - ” | |
| “AYA UCHIDA Complete LIVE ～COLORS～ in 日本武道館”、 | 「内田彩」 |
| “2nd SOLO LIVE 「Blooming! ～咲き誇れみんな～」”、 | |
| “AYA UCHIDA CONCEPT LIVE ～Bitter Kiss～ ～Sweet Tears～” | |
| “いないいないばあっ!” シリーズ | |
| “ふる里の民踊 第56集” | |

<音楽配信>

| | |
|-----------------------|---------------------|
| “砂の塔”、“ALRIGHT” | 「THE YELLOW MONKEY」 |
| “ハナミズキ” | 「一青窈」 |
| “Butterfly” | 「木村カエラ」 |
| “THE IDOLM@STER” シリーズ | |
| “動物戦隊ジュウオウジャー” シリーズ | |

<ゲームソフト>

ニンテンドー3DS

| |
|-----------------------------|
| “わんニャンどうぶつ病院 ステキな獣医さんになろう!” |
| “すみっこぐらし おみせはじめるんです” |
| “すみっこぐらし むらをつくるんです” |

[特販/通販事業]

| |
|-----------------------|
| “演歌の花道” |
| “擦り切れるまで聴いた歌謡ポップス100” |

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して17億7千5百万円増加し、97億6千3百万円となりました。

主な増減としては、資産の部では、現金及び預金が13億8千4百万円、受取手形及び売掛金が1億7千4百万円、繰延税金資産が1億2百万円、投資有価証券が2億1千9百万円増加したものの、前渡金が2億8千6百万円減少しております。負債の部では、支払手形及び買掛金が1億7千3百万円、未払金が2億円、未払法人税等が1億3千8百万円増加しましたが、借入金が2億8千8百万円減少いたしました。また、純資産は親会社株主に帰属する当期純利益を計上したことなどにより15億5千8百万円増加し、39億2千3百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果、増加した資金は21億6千5百万円(前連結会計年度は14億6千2百万円の資金の増加)となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果、減少した資金は4億8千2百万円(前連結会計年度は2億4千8百万円の資金の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果、減少した資金は2億9千7百万円(前連結会計年度は2億6千3百万円の資金の減少)となりました。

以上の結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ13億8千4百万円増加(前連結会計年度末は9億5千1百万円の増加)し、59億2千7百万円(前連結会計年度末は45億4千2百万円)となりました。

(4) 今後の見通し

当社グループは、利益を安定的に計上できる体質にすることを最大の経営課題にしており、得意分野および成長分野への積極的な投資を今後も継続して実施してまいります。

次期の連結業績につきましては、売上高119億円、営業利益7億2千万円、経常利益7億6千万円、親会社株主に帰属する当期純利益6億5千万円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準を適用しています。

今後のIFRS(国際会計基準)の適用については、他社の動向も踏まえながら、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当連結会計年度 (平成29年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,542 | 5,927 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,591 | 1,765 |
| 商品及び製品 | 298 | 358 |
| 仕掛品 | 200 | 290 |
| 原材料及び貯蔵品 | 43 | 44 |
| 繰延税金資産 | 1 | 83 |
| 前渡金 | 310 | 23 |
| 前払費用 | 208 | 216 |
| その他 | 204 | 139 |
| 貸倒引当金 | △3 | △3 |
| 流動資産合計 | 7,398 | 8,845 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 472 | 472 |
| 減価償却累計額 | △380 | △389 |
| 建物及び構築物(純額) | 92 | 83 |
| 機械及び装置 | 618 | 599 |
| 減価償却累計額 | △601 | △585 |
| 機械及び装置(純額) | 16 | 14 |
| 工具、器具及び備品 | 235 | 247 |
| 減価償却累計額 | △183 | △193 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 52 | 53 |
| 土地 | 0 | 0 |
| リース資産 | 29 | 24 |
| 減価償却累計額 | △20 | △20 |
| リース資産(純額) | 9 | 3 |
| 有形固定資産合計 | 171 | 156 |
| 無形固定資産 | | |
| リース資産 | 3 | 0 |
| ソフトウェア | 114 | 127 |
| その他 | 5 | 35 |
| 無形固定資産合計 | 123 | 164 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 51 | 270 |
| 繰延税金資産 | 3 | 24 |
| 長期前払費用 | 1 | 0 |
| 長期未収入金 | 74 | 66 |
| その他 | 444 | 530 |
| 貸倒引当金 | △280 | △295 |
| 投資その他の資産合計 | 294 | 596 |
| 固定資産合計 | 589 | 917 |
| 資産合計 | 7,988 | 9,763 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当連結会計年度 (平成29年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 816 | 989 |
| 短期借入金 | 290 | 290 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 288 | 284 |
| リース債務 | 9 | 4 |
| 未払金 | 623 | 824 |
| 未払費用 | 262 | 283 |
| 未払印税 | 1,718 | 1,791 |
| 未払法人税等 | 93 | 231 |
| 返品調整引当金 | 85 | 73 |
| その他 | 441 | 350 |
| 流動負債合計 | 4,628 | 5,122 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 444 | 160 |
| リース債務 | 4 | — |
| 繰延税金負債 | 1 | — |
| 退職給付に係る負債 | 508 | 522 |
| 資産除去債務 | 34 | 34 |
| その他 | 2 | — |
| 固定負債合計 | 994 | 716 |
| 負債合計 | 5,623 | 5,839 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,000 | 1,000 |
| 資本剰余金 | 557 | 557 |
| 利益剰余金 | 995 | 2,651 |
| 自己株式 | △31 | △32 |
| 株主資本合計 | 2,521 | 4,176 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2 | 3 |
| 為替換算調整勘定 | △175 | △175 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △25 | △96 |
| その他の包括利益累計額合計 | △198 | △268 |
| 新株予約権 | 42 | 15 |
| 純資産合計 | 2,365 | 3,923 |
| 負債純資産合計 | 7,988 | 9,763 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 13,343 | 14,020 |
| 売上原価 | 7,584 | 7,679 |
| 売上総利益 | 5,758 | 6,341 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売費 | 2,141 | 2,059 |
| 一般管理費 | 2,417 | 2,395 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 4,558 | 4,454 |
| 営業利益 | 1,200 | 1,886 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 0 | 0 |
| 未払印税整理益 | 15 | 22 |
| 受取手数料 | 4 | 4 |
| その他 | 6 | 3 |
| 営業外収益合計 | 27 | 31 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 12 | 8 |
| 持分法による投資損失 | 0 | 0 |
| 株式交換関連費用 | — | 54 |
| その他 | 1 | 1 |
| 営業外費用合計 | 14 | 64 |
| 経常利益 | 1,213 | 1,853 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 15 | 27 |
| その他 | — | 2 |
| 特別利益合計 | 15 | 29 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 9 | — |
| 海外事業整理損 | 59 | — |
| 著作権関連損失 | 10 | — |
| その他 | 3 | — |
| 特別損失合計 | 83 | — |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,146 | 1,883 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 173 | 331 |
| 法人税等調整額 | △1 | △104 |
| 法人税等合計 | 172 | 227 |
| 当期純利益 | 973 | 1,655 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 973 | 1,655 |

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 973 | 1,655 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1 | 0 |
| 為替換算調整勘定 | 47 | 0 |
| 退職給付に係る調整額 | △58 | △70 |
| その他の包括利益合計 | △9 | △69 |
| 包括利益 | 963 | 1,586 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 963 | 1,586 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|-------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,000 | 557 | 21 | △30 | 1,548 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 973 | | 973 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 973 | △0 | 972 |
| 当期末残高 | 1,000 | 557 | 995 | △31 | 2,521 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|--------------|---------------|-------|-------|
| | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 1 | △223 | 32 | △189 | 58 | 1,418 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 973 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 1 | 47 | △58 | △9 | △15 | △25 |
| 当期変動額合計 | 1 | 47 | △58 | △9 | △15 | 947 |
| 当期末残高 | 2 | △175 | △25 | △198 | 42 | 2,365 |

当連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|-------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,000 | 557 | 995 | △31 | 2,521 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,655 | | 1,655 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 1,655 | △0 | 1,655 |
| 当期末残高 | 1,000 | 557 | 2,651 | △32 | 4,176 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|--------------|---------------|-------|-------|
| | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 2 | △175 | △25 | △198 | 42 | 2,365 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 1,655 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 0 | 0 | △70 | △69 | △27 | △96 |
| 当期変動額合計 | 0 | 0 | △70 | △69 | △27 | 1,558 |
| 当期末残高 | 3 | △175 | △96 | △268 | 15 | 3,923 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,146 | 1,883 |
| 減価償却費 | 97 | 82 |
| 減損損失 | 9 | — |
| 長期前払費用償却額 | 41 | 34 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 13 | 15 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △21 | 14 |
| 退職給付に係る調整累計額の増減額(△は減少) | △58 | △70 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1 | △1 |
| 支払利息 | 12 | 8 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 279 | △174 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 220 | △150 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △57 | 173 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △453 | 179 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | 11 | 20 |
| 未払印税の増減額(△は減少) | 144 | 72 |
| その他 | 183 | 299 |
| 小計 | 1,570 | 2,388 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1 | 1 |
| 利息の支払額 | △12 | △8 |
| 法人税等の支払額 | △150 | △215 |
| 法人税等の還付額 | 54 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,462 | 2,165 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △13 | △16 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △37 | △51 |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △219 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △41 | △34 |
| 長期貸付けによる支出 | — | △40 |
| 長期貸付金の回収による収入 | — | 2 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出 | △45 | — |
| その他 | △108 | △123 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △248 | △482 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 60 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △313 | △288 |
| 配当金の支払額 | △0 | △0 |
| リース債務の返済による支出 | △9 | △9 |
| その他 | △0 | △0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △263 | △297 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1 | — |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 951 | 1,384 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,590 | 4,542 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 4,542 | 5,927 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(株式交換契約の締結)

当社および株式会社フェイス(以下「フェイス」といいます。)は、平成29年3月28日開催のそれぞれの取締役会において、フェイスを株式交換完全親会社とし、当社を株式交換完全子会社とする株式交換(以下「本株式交換」といいます。)を行うことを決議し、同日両社間で株式交換契約(以下「本株式交換契約」といいます。)を締結いたしました。

1. 本株式交換の目的

当社およびフェイスは、急速に変化していく事業環境の中で、資本面・事業面の一元化を進め、両社の技術・人材を効率的に活用していくことを目指しています。本株式交換により、ユーザーサイドとアーティスト等のコンテンツ制作者サイド双方に対して新たな事業手法を導入していくために必要な投資を、機を逸することなく果敢に行い、これまで以上に新たなサービス・新市場を創出して両社の企業価値をさらに向上させてまいります。

2. 本株式交換の要旨

(1) 本株式交換の日程

| | |
|-------------------------|----------------|
| 本株式交換契約締結日(両社) | 平成29年3月28日 |
| 本株式交換契約承認時株主総会開催日(当社) | 平成29年6月23日(予定) |
| 本株式交換契約承認時株主総会開催日(フェイス) | 平成29年6月29日(予定) |
| 最終売買日(当社) | 平成29年7月26日(予定) |
| 上場廃止日(当社) | 平成29年7月27日(予定) |
| 本株式交換の実施予定日(効力発生日) | 平成29年8月1日(予定) |

(2) 本株式交換に係る割当ての内容

| | フェイス | 当社 |
|-----------------|--------------------------|------|
| 本株式交換に係る割当比率 | 1 | 0.59 |
| 本株式交換により交付する株式数 | フェイスの普通株式：3,900,834株(予定) | |

(注1) 本株式交換に係る割当比率

当社の株式1株に対して、フェイスの普通株式0.59株を割当て交付いたします。なお、本株式交換比率は、本株式交換契約に従い、算定の基礎となる諸条件に重大な変更が生じた場合には、両社間で協議の上、変更することがあります。

(注2) 本株式交換により交付する株式数

フェイスは、本株式交換に際して、本株式交換によりフェイスが当社株式(ただし、フェイスが保有する当社株式は除きます。)の全てを取得する直前時における当社株主の皆様(ただし、フェイスを除きます。)に対し、保有する当社株式に代えて、保有する当社株式の数の合計に0.59を乗じて得た数のフェイス株式を交付いたします。

(3) 本株式交換に係る割当ての内容の算定根拠

株式交換比率の算定に当たっては、当社は、第三者算定機関として株式会社プルータス・コンサルティングを、また、法務アドバイザーとして岩田合同法律事務所を選定し、一方、フェイスは、第三者算定機関として野村証券株式会社を、また、法務アドバイザーとしてアンダーソン・毛利・友常法律事務所を選定しました。

株式会社プルータス・コンサルティングは、当社およびフェイスの双方について、市場株価法、類似会社比較法およびDCF法による分析を行い、これらを総合的に勘案して株式交換比率を算定しております。

野村証券株式会社は、当社およびフェイスの双方について、市場株価平均法およびDCF法による分析を行い、これらを総合的に勘案して株式交換比率を算定しております。

これらの算定結果および法務アドバイザーの助言を参考に、当事者間で協議し株式交換比率を決定いたしました。

(4)利益相反を回避するための措置

当社は、本株式交換が当社の少数株主にとって不利益な条件の下で行われることを防止するため、当社およびフェイスから独立した外部の有識者で構成される第三者委員会を設置し、本株式交換に応じることが当社の少数株主にとって不利益なものではないかについて諮問しました。手続き上の利益相反回避措置の説明、算定結果その他の検討資料を前提として、当社が本株式交換に応じることが当社の少数株主にとって不利益なものではないと認められる旨の答申書を第三者委員会より受領しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、財務情報の入手が可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、企画、制作した音源、映像などのコンテンツを様々な商品に加工し、その商品に適した販売ルートにより消費者へ提供しております。したがって、当社は、制作部門および販売ルートを基礎としたセグメントから構成されており、「市販/配信」事業および「特販/通販」事業の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「市販/配信」事業は、企画、制作した音源、映像などのコンテンツに基づく商品を主に販売しております。「特販/通販」事業は、「市販/配信」事業が制作した音源、映像などのコンテンツを二次利用した商品を主に販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他(注)1 | 合計 |
|-----------------------|---------|-------|--------|---------|--------|
| | 市販/配信 | 特販/通販 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,021 | 2,088 | 12,109 | 1,233 | 13,343 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 92 | 8 | 101 | 24 | 126 |
| 計 | 10,113 | 2,097 | 12,210 | 1,258 | 13,469 |
| セグメント利益 | 1,582 | 1,135 | 2,717 | 370 | 3,088 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 24 | — | 24 | 9 | 34 |

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、音楽著作権取得管理事業及び製造販売受託事業等を含んでおります。

2 資産及び負債を事業セグメント別に配分しておりませんので、セグメント資産及び負債の開示を省略しております。

当連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他(注)1 | 合計 |
|-----------------------|---------|-------|--------|---------|--------|
| | 市販/配信 | 特販/通販 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,379 | 1,791 | 13,171 | 849 | 14,020 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 117 | 7 | 125 | 18 | 144 |
| 計 | 11,497 | 1,799 | 13,296 | 867 | 14,164 |
| セグメント利益 | 2,491 | 885 | 3,377 | 301 | 3,678 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 24 | — | 24 | 9 | 33 |

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、音楽著作権取得管理事業及び製造販売受託事業等を含んでおります。

2 資産及び負債を事業セグメント別に配分しておりませんので、セグメント資産及び負債の開示を省略しております。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 売上高 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|--------------|---------|---------|
| 報告セグメント計 | 12,210 | 13,296 |
| 「その他」の区分の売上高 | 1,258 | 867 |
| セグメント間取引消去 | △126 | △144 |
| 連結財務諸表の売上高 | 13,343 | 14,020 |

(単位:百万円)

| 利益 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|-------------|---------|---------|
| 報告セグメント計 | 2,717 | 3,377 |
| 「その他」の区分の利益 | 370 | 301 |
| セグメント間取引消去 | 3 | 3 |
| 全社費用(注) | △1,891 | △1,795 |
| 連結財務諸表の営業利益 | 1,200 | 1,886 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:百万円)

| その他の項目 | 報告セグメント計 | | その他 | | 調整額 | | 連結財務諸表 計上額 | |
|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------|-------------|
| | 前連結 会計年度 | 当連結 会計年度 | 前連結 会計年度 | 当連結 会計年度 | 前連結 会計年度 | 当連結 会計年度 | 前連結 会計年度 | 当連結 会計年度 |
| 減価償却費 | 24 | 24 | 9 | 9 | 62 | 48 | 97 | 82 |
| 減損損失 | — | — | — | — | 9 | — | 9 | — |

(注) 前連結会計年度の「調整額」の金額は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

(1株当たり情報)

| 項目 | 前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日) |
|-------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 172.18円 | 289.76円 |
| 1株当たり当期純利益 | 72.17円 | 122.77円 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | — | — |

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日) |
|---|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) | 973 | 1,655 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 973 | 1,655 |
| 普通株式期中平均株式数(千株) | | |
| 普通株式 | 13,489 | 13,487 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | | |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に用いられた 普通株式増加数の内訳(千株) | | |
| 新株予約権 | — | — |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | 新株予約権 (5種類、1,180個) 普通株式 59千株 | 新株予約権 (2種類、440個) 普通株式 22千株 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。